

中小・小規模事業者の 事業再構築を支援します！

～ 札幌商工会議所の中小・小規模事業者支援事例紹介 ～

カスタマイズ型得点板開発への挑戦！

企業名：(株)ストラクト

担当者名：執行役員 兵藤 伸之

業種：ソフトウェア開発業

本社住所：札幌市南区中ノ沢1775-22

(株)ストラクトは、メーカーから受託した業務用ソフトウェア開発が主業であり、設計から開発、運用まで一貫した体制を構築している。また、経験豊富な技術者でチームを結成し、ソケット通信をはじめとする高い技術力やカスタマイズ性、システム稼働後の安定性などに定評がある。

しかし、こうした技術があるにも関わらず、受託開発ソフトウェア業は元請け会社に左右されがちであったため、メーカー下請け以外での新規事業を検討することとした。

当所経営指導員と同社の経営資源を分析すると、代表取締役の兵藤智子氏と執行役員の兵藤伸之氏は共に空手の選手兼指導者（全日本清心会空手道連盟藤野支部長）であり、業界との人脈もあることが分かった。そのため、空手業界を中心に市場分析を進めたところ、空手をはじめとする競技のカスタマイズ型得点板にニッチなニーズがあることが想定された。

例えば、空手ではさまざまなルール（フルコンタクト系、伝統系、審判機構など）があるため、大会に合わせてそのルールに合った得点板を用意しなければならない。また、ルール改正時などは都度新たなものを購入する必要があり大きな負担となっていた。そこで、事業再構築補助金を活用し、一般的なPCとモニター（テレビ）さえあれば簡単に利用可能な得点板システムとそれを内蔵するキーボードスイッチを開発した。さらに、PCを使用することによる優位性を利用し、選手名の表示にも対応した。

これらのシステムは、同社がこれまでに蓄積してきた技術と自動アップデートサーバーの構築経験をもとにしたさまざまなルールに対応できるカスタマイズ型得点板であり、ルール改正後のプログラム修正や顧客への自動配信も迅速に行うことができる革新的なものである。さらに、現在の試合状況をウェブサイトで発信し、別室に居る選手やスタッフなどが閲覧できる仕組みも付加した。この機能は独立させ単独で使用することも可能なため、得点板の利用の有無を問わずさまざまな競技の大会に活用できる。

昨年の「JKJO全日本ジュニア空手道選手権大会」では、試験導入に結び付いた。この試験導入が大好評で、本年以降は全コートでの本採用が決まった他、さまざまな道場から問い合わせが殺到している。



2023年代々木でのJKJO全日本ジュニアの様子



実際のモニター画面



代表取締役 兵藤智子氏 執行役員 兵藤伸之氏

直近では、本年3月10日開催の「JFKO全日本青少年フルコンタクト空手道選手権大会」をはじめ、さまざまな流派の全国大会で使用いただくことが決まっています。また、北海道では2月25日開催の「JFKO北海道フルコンタクト空手道選手権大会」にも採用されました。得点板システムの他、試合状況案内は空手以外の大会でも利用が可能ですので、ご興味のある方はお気軽にお問い合わせください。
【お問い合わせは [e-mail:contact@linkageboard.jp](mailto:contact@linkageboard.jp) まで】



お問い合わせ

中小企業の経営支援については、最寄りの支所にお問い合わせください。

中央支所 011-241-6381
豊平支所 011-823-7166

西支所 011-665-6431
白石支所 011-862-7255

札幌駅北口支所 011-756-9181